

# サイコロを用いたオートマティスム的建築思考 —ビルディングタイプ批判から始まるフェティシズムへの目覚め—

機能論で語られる  
床面積至上主義の世の中  
とってまっかこ悪くて、悲しいな

簡単にえられるとは思わないな  
困ったな

突拍子もないやり方として  
自分の意識とは無関係に動作させるサイコロを手にする。

まずは、何も考えず設計



観察、設計 サイコロをふる



観察、設計 サイコロをふる



「土」を覚える

「光」を覚える

観察、設計

偶然性の力を借りる操作を  
行っていたら自分の好きなもの  
が集まっていたことに気づく

サイコロをふる



「風」を覚える

「恋」(フェティシズム)を覚える

普通の愛ではいけない  
ビルディングタイプに対抗するためには  
偏愛と呼べるものでなくてはならない

サイコロをふる



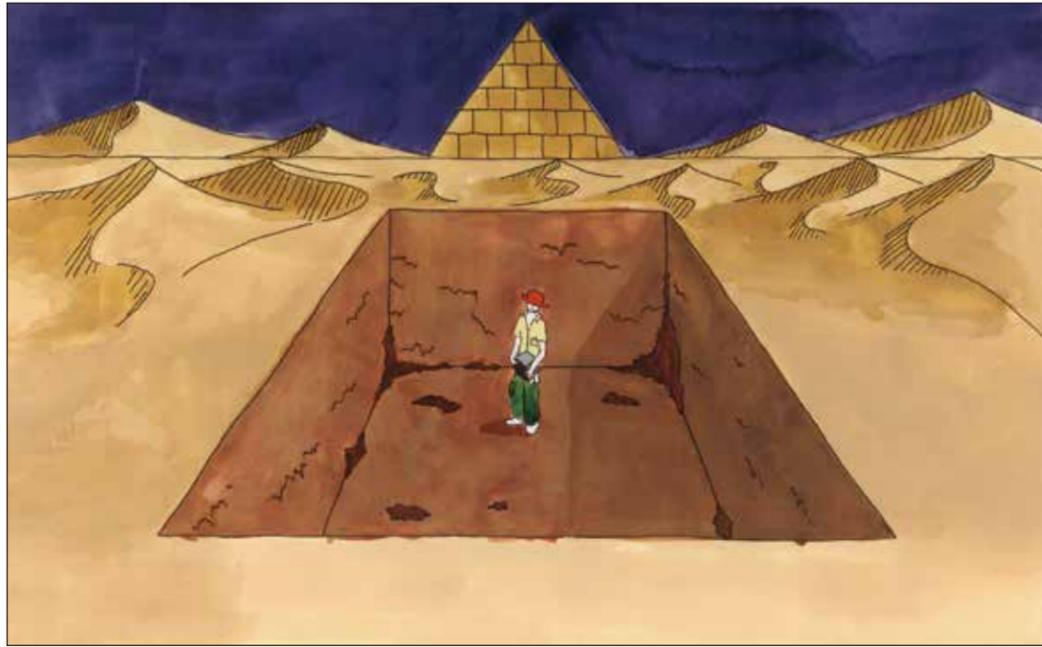
観察、設計

これは、私の建築思考を確認するためのプロセスである



データ  
 名称 天地反転サイコロ  
 サイズ 100 × 100 × 100 mm  
 重量 1730 gm  
 特徴 でた目に沿って建築を転がす

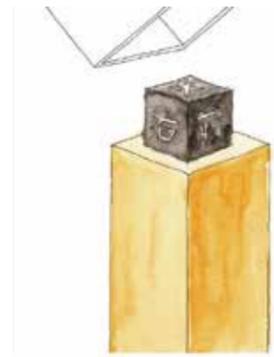
### 天地反転サイコロの取り扱い方



発掘現場



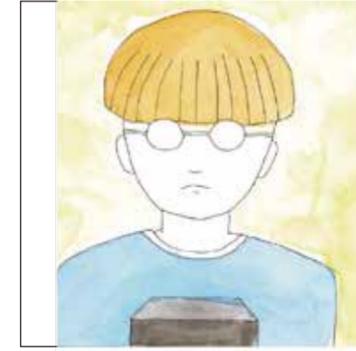
展示風景



1\_ ケースを開ける



2\_ 取り出す



3\_ 建築の良い未来を願う



4\_ 祈りのダンス



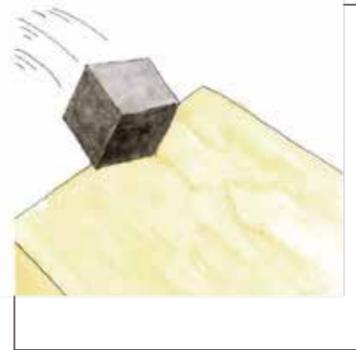
5\_ そして祈りのダンス



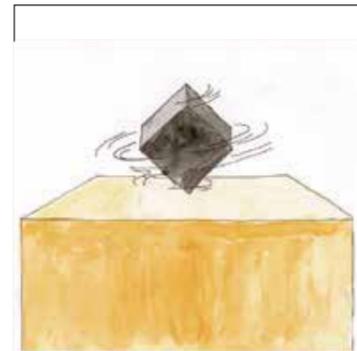
6\_ 準備完了



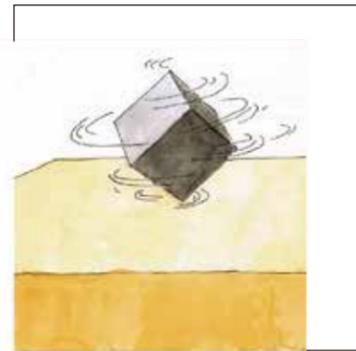
7\_ ふる



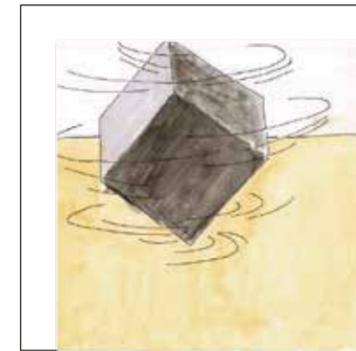
8\_ ヒューン



9\_ 何がでるかな



10\_ 何がでるかな



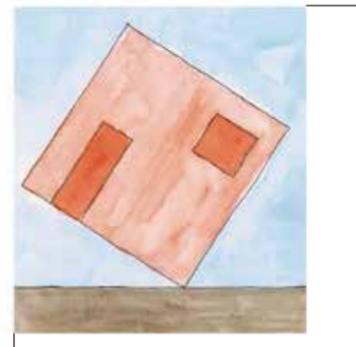
11\_ 何がでるかな



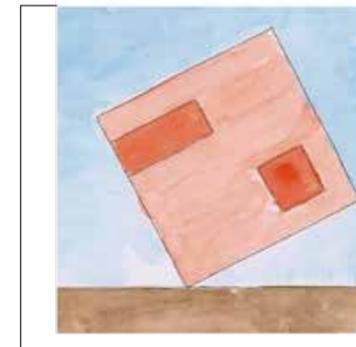
12\_ でた目は「左」



13\_ ……………



14\_ ゴゴッ～



15\_ ゴゴゴッ～



16\_ 建築回転完了！！

始まりは、空間を出来るだけ大きく床面積を最大限に何も考えず設計する。



ゆるぎない幸せをつくろう。ずっと続く人生のために。限られた敷地でも広く感じられる住まいを。ダイワハウス

あなたと夢を、ごいっしょに。パナホーム

何世紀にもわたり美しい音色を奏で続けるヴァイオリンのように、住む人が培った個性は、時空を超え美しさを放つ。三井ホーム

天井高 2m72cm。だから広く感じる。ダイワハウス

いい住まいが良い未来のスタートになる。ヤマダエスバイエルホーム

人生になる家。 積水ハウス

時を経ても、続く価値を。セキスイハイム

木と生きる幸福。住友林業

幸せを築くために、人は、家を築くのかもしれません。トヨタホーム

「ただいま」と「いきます」の間にあるこの時間が私は好きだ。積水ハウス

あしたのデザインをあなたへ ミサワホーム

Happy Life Happy Home TAMA HOME タマホーム

スウェーデン ダーラナ地方の暮らしが教えてくれました スウェーデンハウス

アイフル (EYEFUL) という言葉には「大きく目を開く」、「よくものが見える」という意味があります。アイフルホーム

考えよう。答えはある。ヘーベルハウス

# 住 を覚える

でた目 「一」

敷地 「都市」

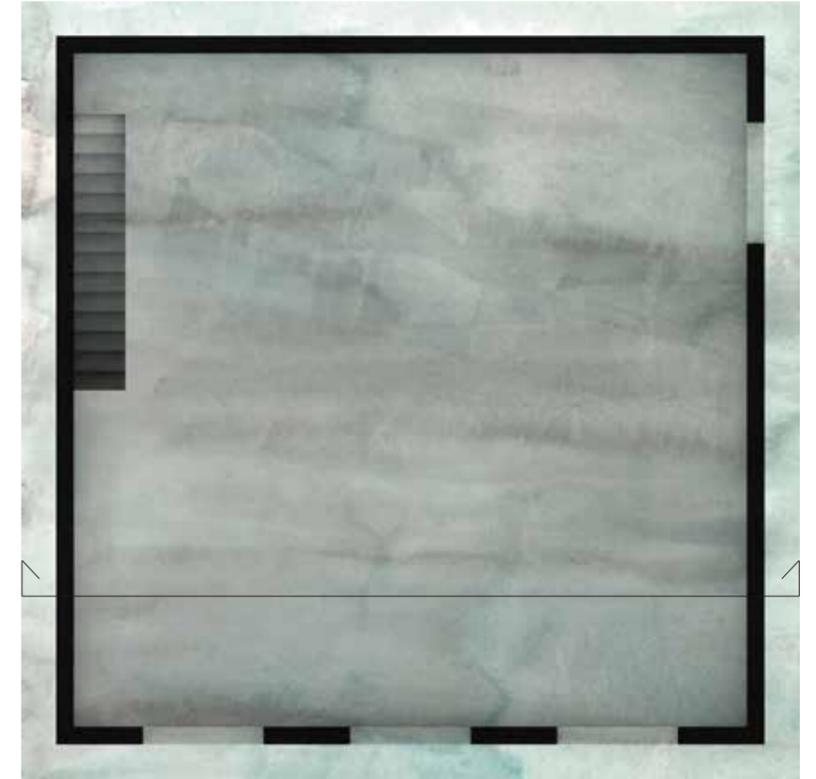
設計手法 現状通りに、空間を出来るだけ大きく床面積を最大限に何も考えず設計する。

住むのためにはもの足りない。

本来、私たちは重力から逃れることはできない。

建築の歴史は重力を操り、支配し、克服するための長い戦いの

歴史であり、重力なくしては建築は存在し得ない。



+8500 平面図 1/50



断面図 1/100



+1800 平面図 1/50

# 光を覚える

でた目 「前」

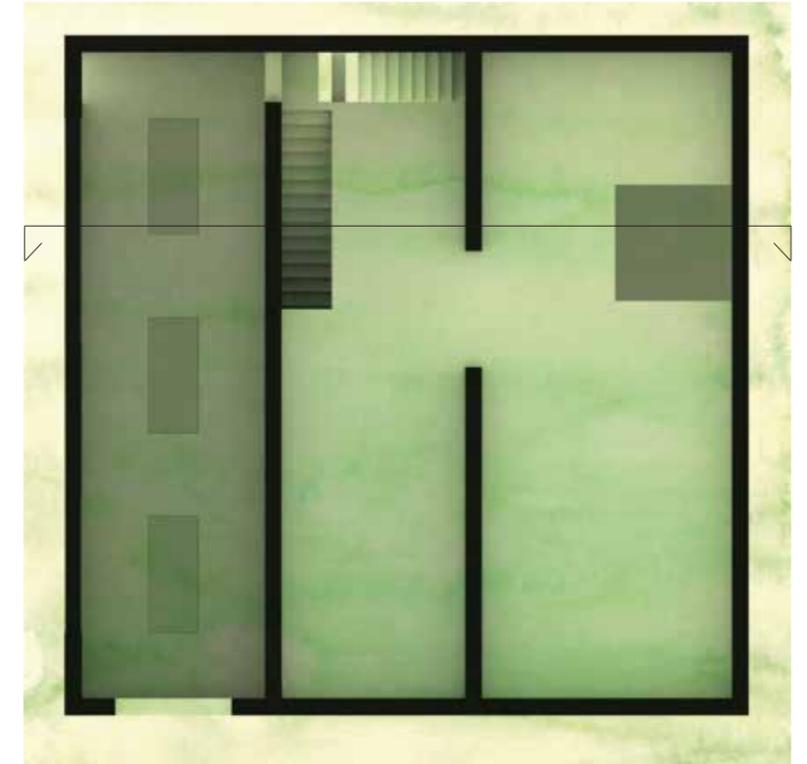
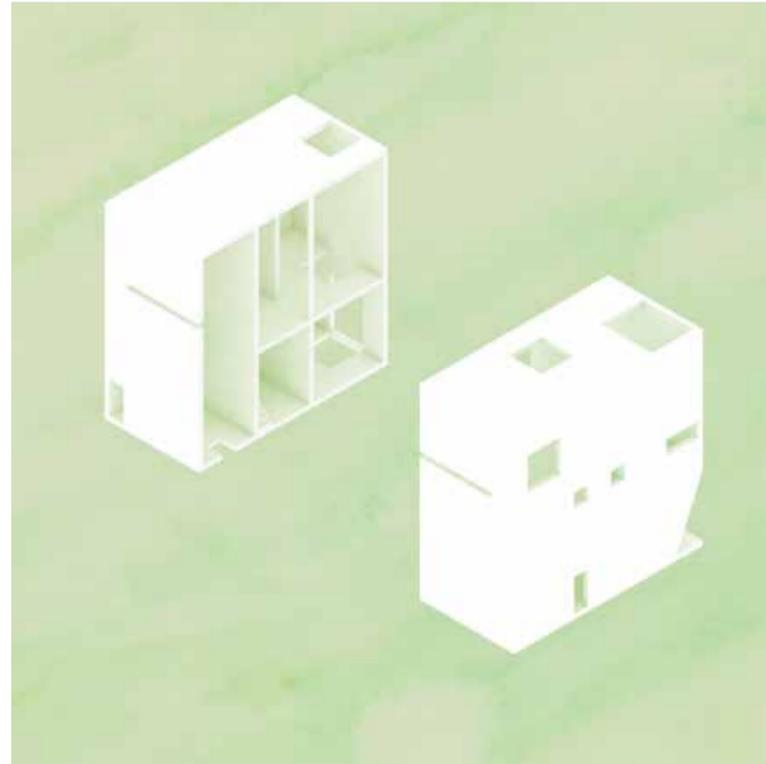
敷地 「草原」

設計手法 天高が10mと高く、3部屋に分かれている彫刻的な光が差し込むように設計する。

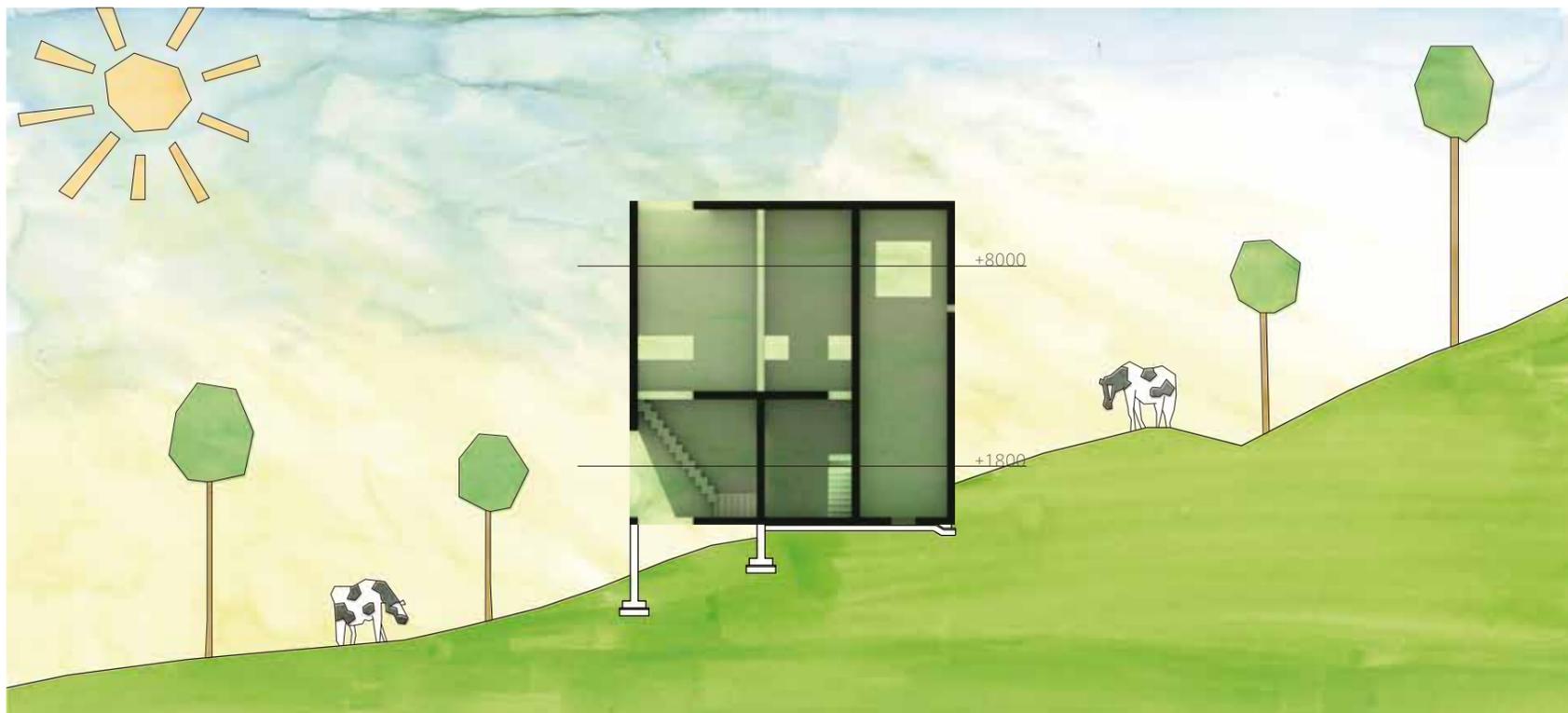
平面は反転した、人は外に背を向けて、光のほうをみる。

そして、どこになんという光があるか、どこが翳っているか。

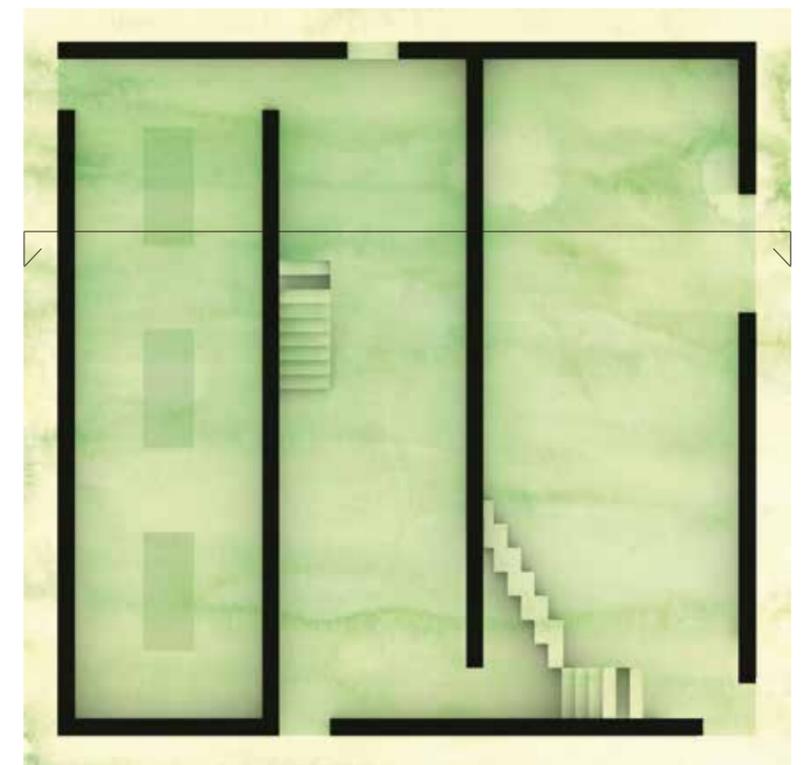
ある表面は鈍い光を放ち、ある表面は燦めき、ある表面は深いところから光がやってくる。



+8000 平面図 1/50



断面図 1/100



+1800 平面図 1/50

# 土 を覚える

でた目 「後」

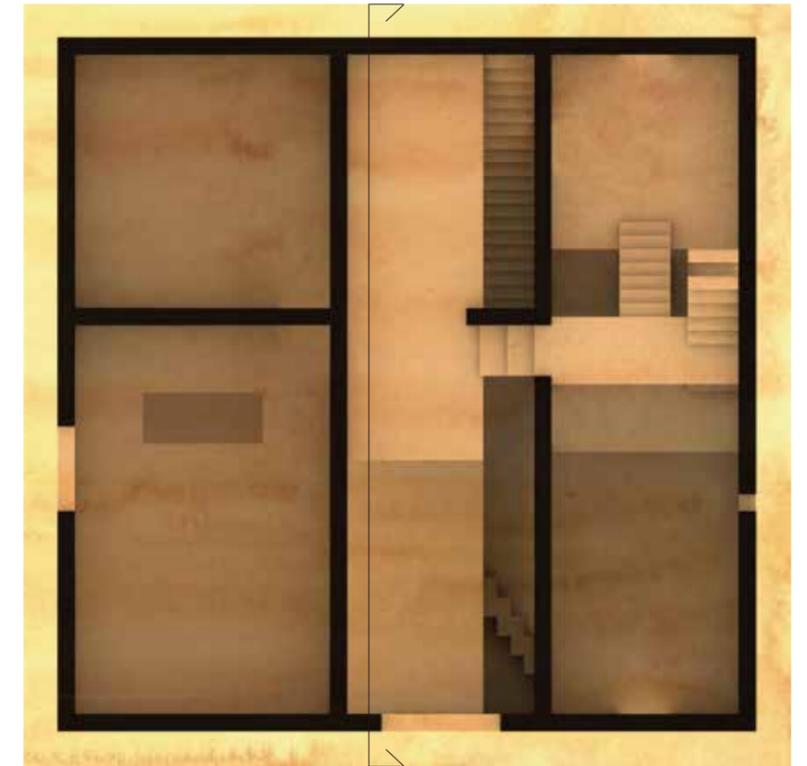
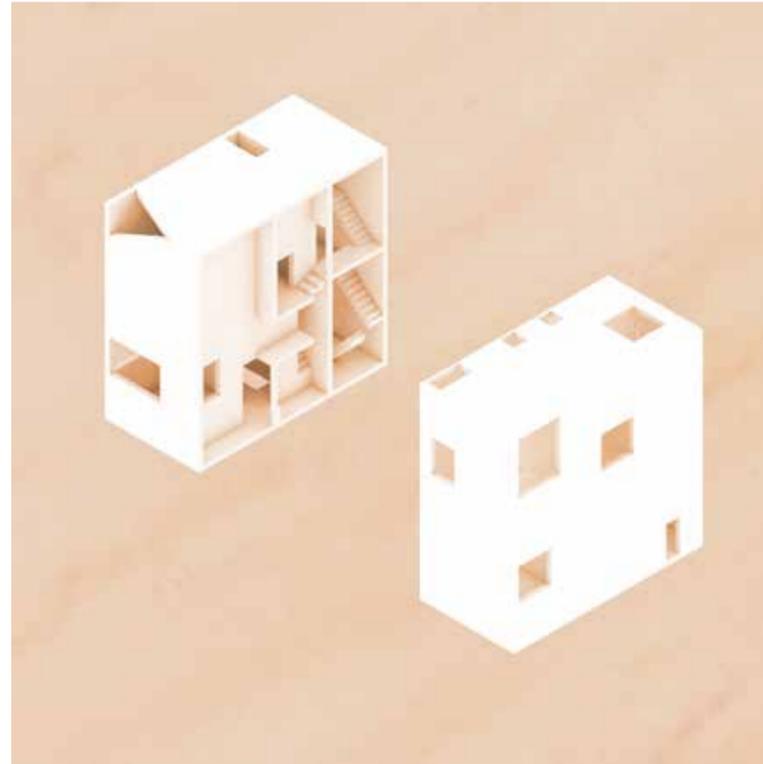
敷地 「荒野」

設計手法 高さ 0.5~1m の開口が多く人のための開口  
ではなく土のための開口と捉え、住空間を  
上部に移動する。

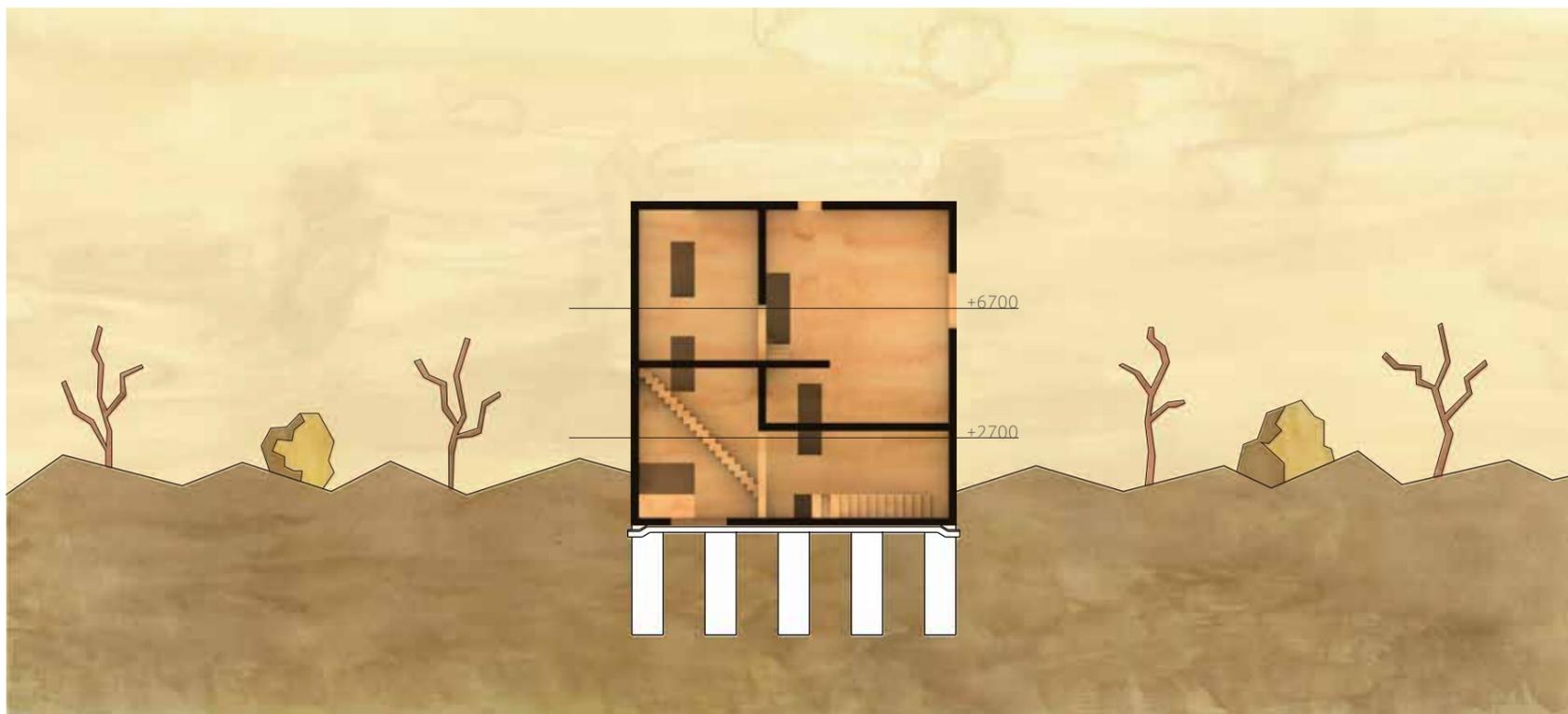
この建築での経験は、外部の雑音を消し去ってしまう。

まさに、その存在自体に意識が集中するからである。

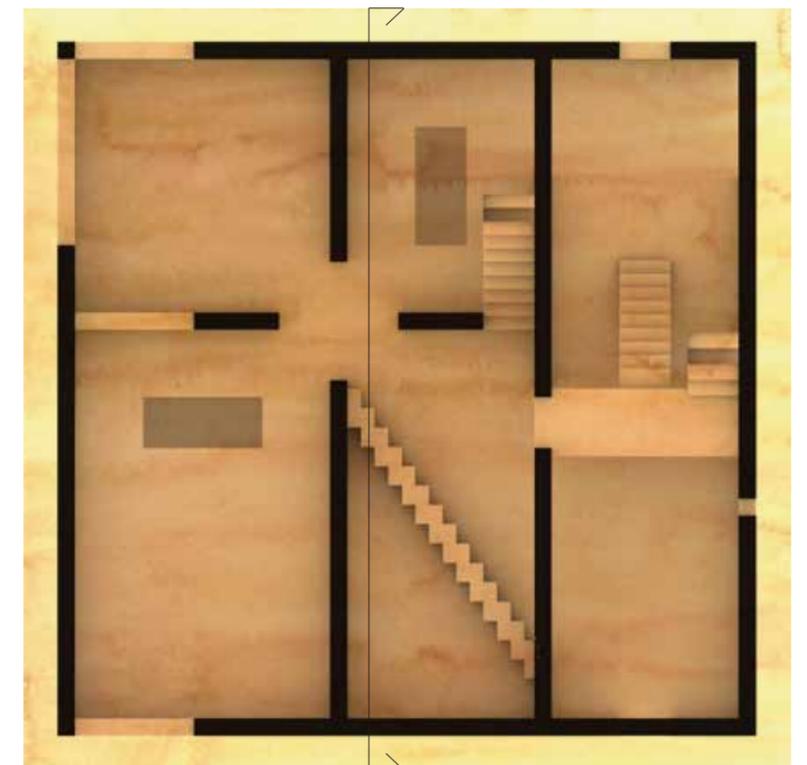
肌はものの表面仕上げ、重さ、密度、温度を読み取ることができ、  
建築は石のような沈黙を表現する芸術となる。



+6700 平面図 1/50



断面図 1/100



+2700 平面図 1/50

# 風を覚える

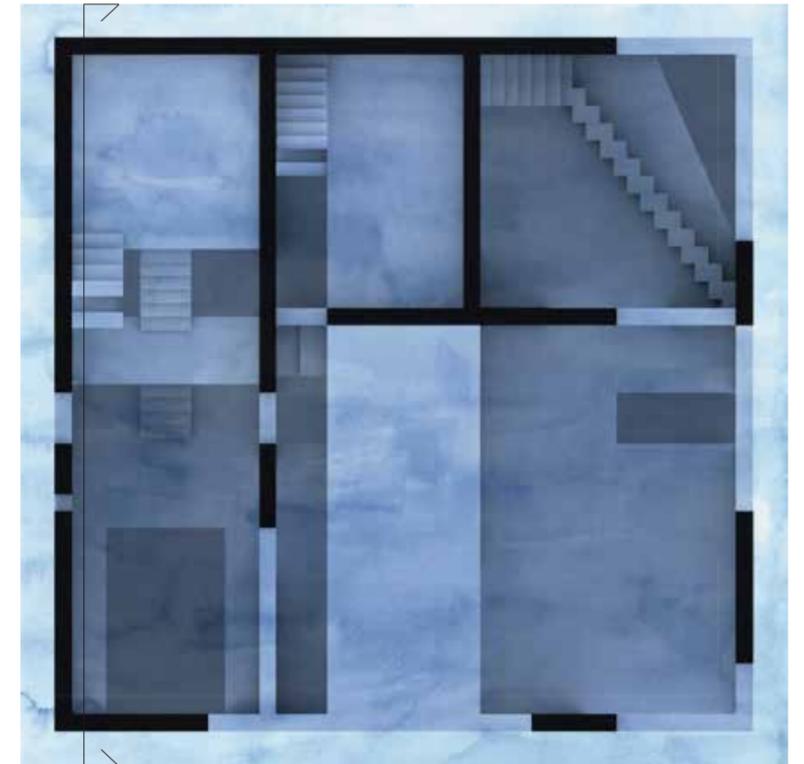
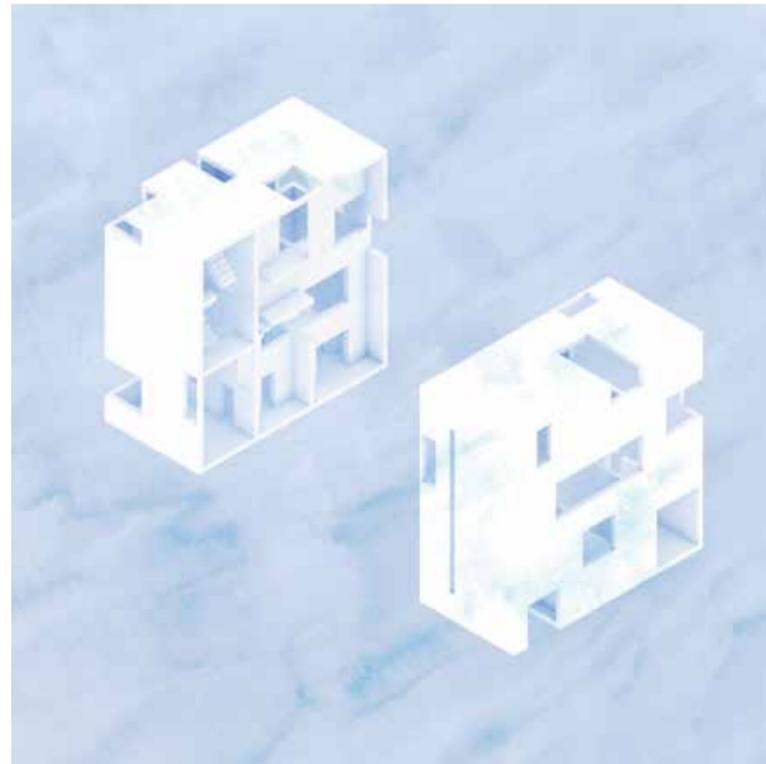
でた目 「天」

敷地 「天空」

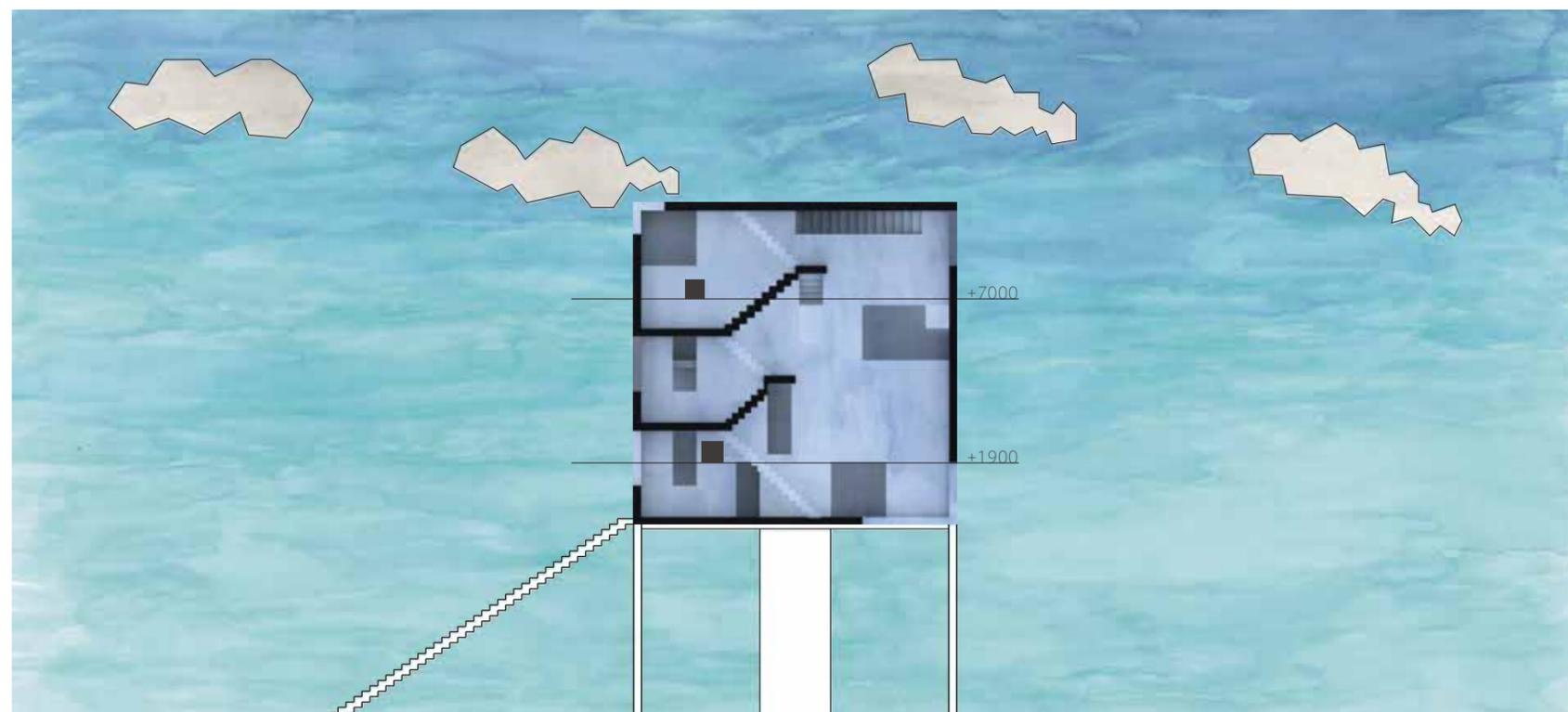
設計手法 xyz 軸全ての面が揃い密度が高く、息苦しい。  
風が通り抜けるよう面に開口を開け、快適に。

この建築の中に流れ込んで摺り抜け、辺りを周遊する。

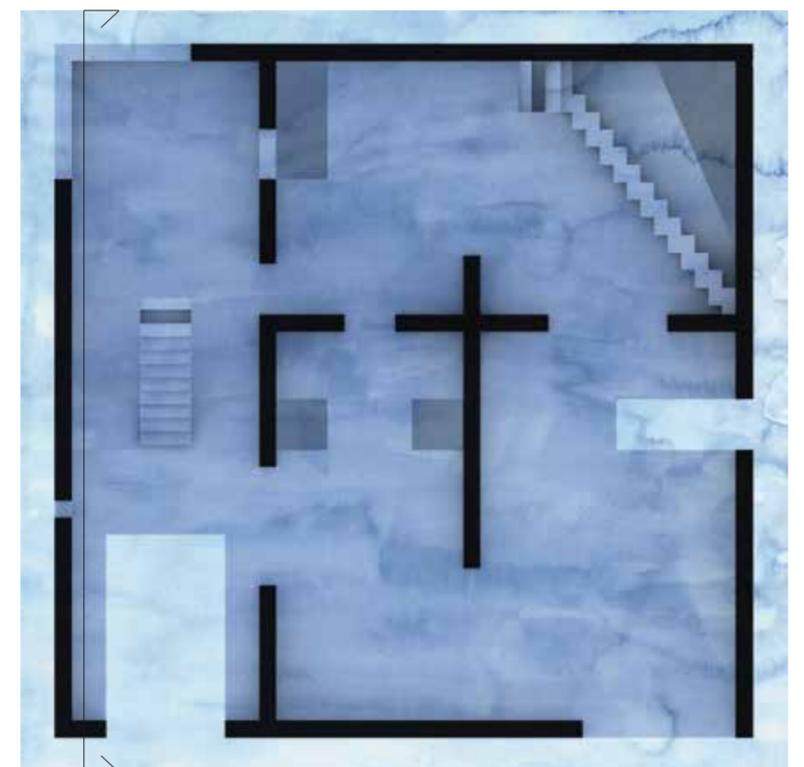
実際、私の上に風が乗っているのか、私が乗っているのか区別が  
つかなくなる。



+7000 平面図 1/50



断面図 1/100



+1900 平面図 1/50

愛 (偏愛=フェティシズム) を覚える

でた目 「左」

敷地 「こころ」

設計手法 私の好きなものが集まった空間であることに気づく。そのフェティシズムをもとに設計する。

この建築が機能的であるかどうかよりも、

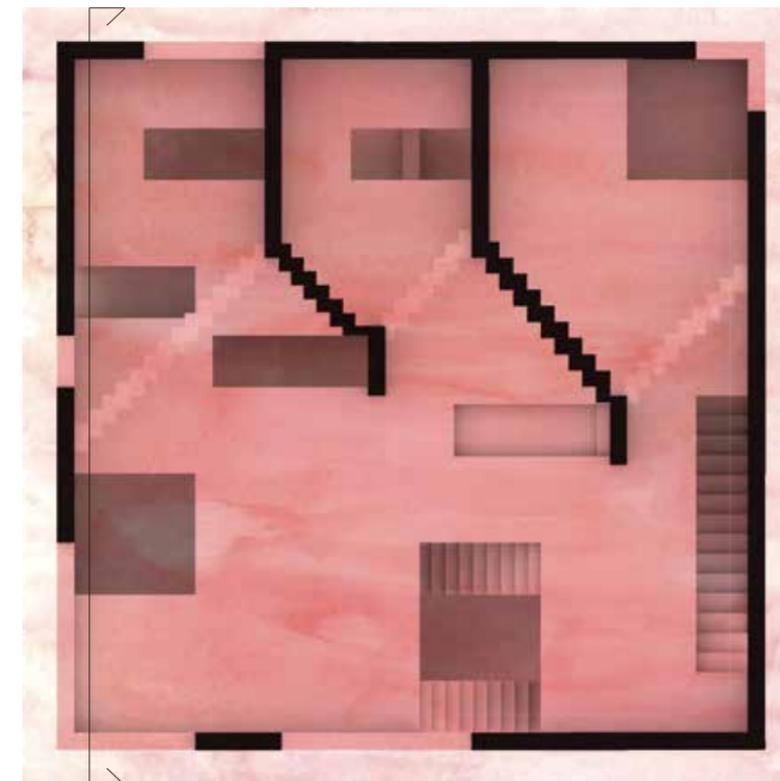
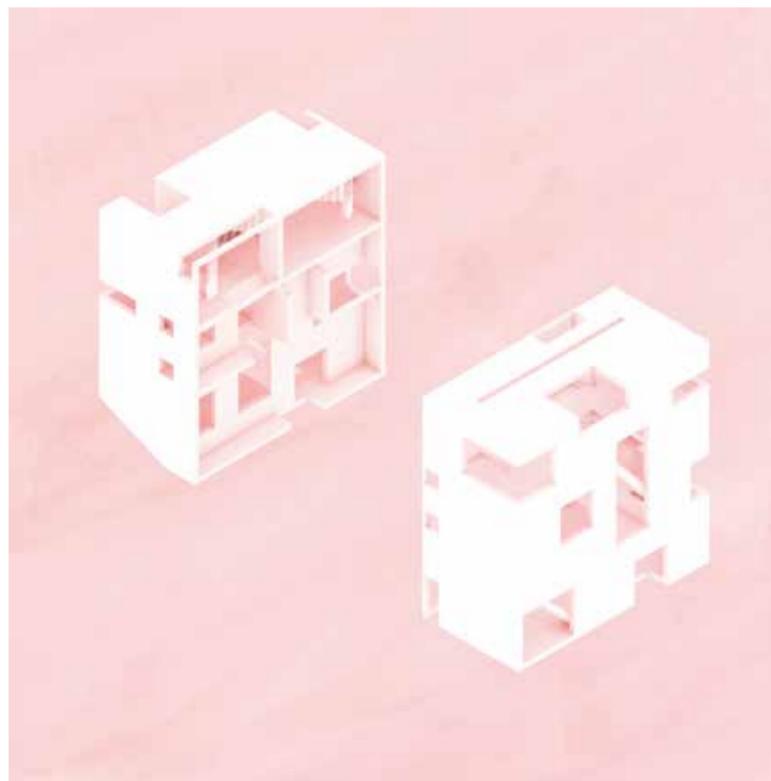
それを想うことの方がはるかに私の心を愉ませる。

機能的であるなどはまったく別次元の話であって、

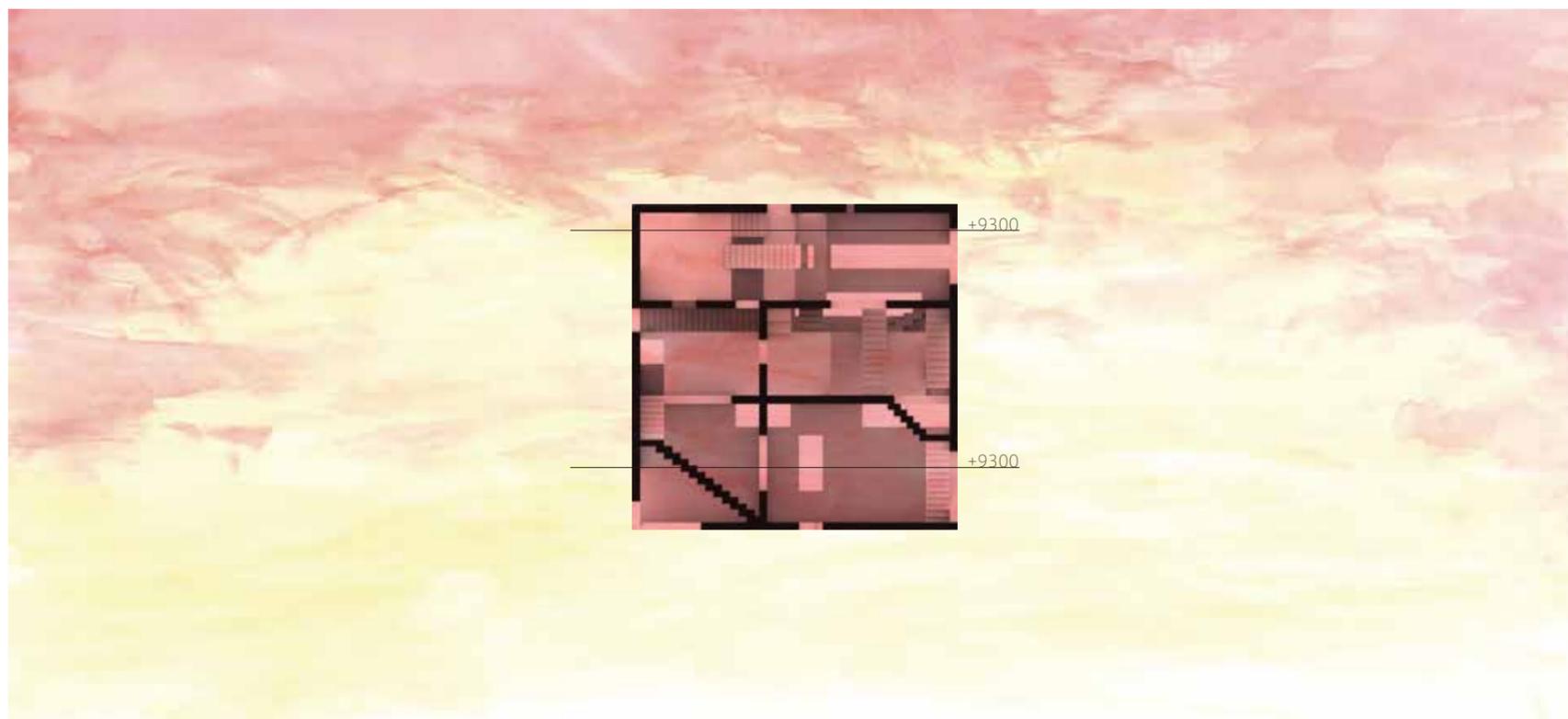
設計には何の助けにもならない。

私が愛せる物を造ることができたときに私は幸せである、

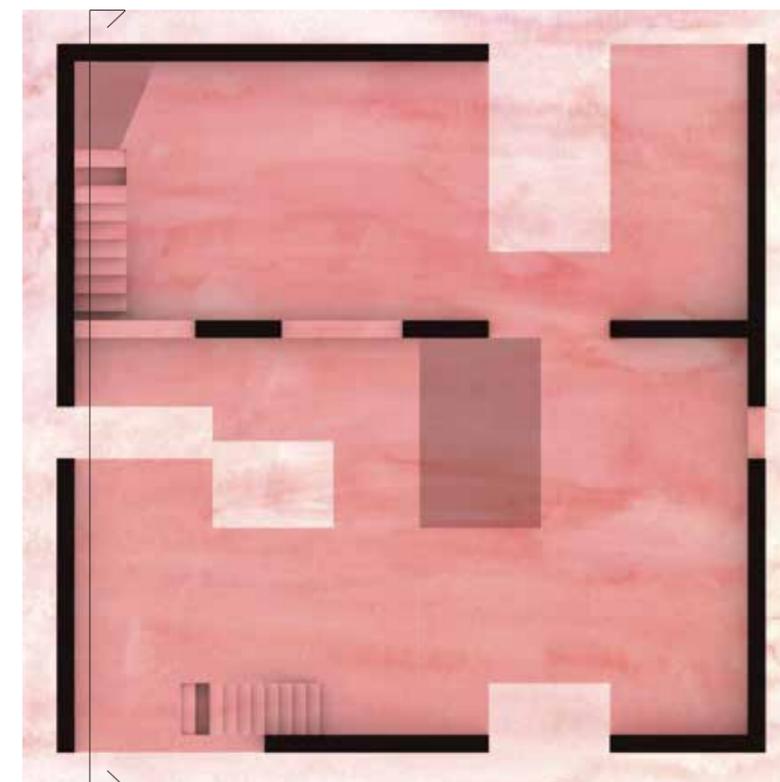
ということを私は認めなければならない。



+9300 平面図 1/50



断面図 1/100



+1900 平面図 1/50